

## 令和3年度(2021年度) 第1回熊本市公共交通協議会 議事録

### I 日時等

1. 日 時：令和3年(2021年)7月30日(金)午後1時30分～午後3時
2. 場 所：熊本市役所 議会棟2階 予算決算委員会室

### II 主な内容

1. 開会
2. 新任委員紹介及び委嘱状交付
3. 会長挨拶
4. 議事

#### (1) 部会構成、専門部会委員について

(事務局)

- ・資料1を用いて説明

(会長)

- ・これまでの経緯も含めて、特に2ページのところへまとめてあり、新任の委員の方には、こういった形で議論が進んできたということが分かるような形にしている。お尋ねについては、後で事務局へ申し出ていただきたいと思うが、特にこれまでの主な取り組みとして具体的に列挙している内容は、全国的にみても非常に重要な取り組みをしている。
- ・部会の構成員についてはご承認をいただきたいと思うが、各部会については、他の部会との関係で是非聞いてみたいという意向もあると思うため、オブザーバーとして参加することが可能である。部会開催の時は委員の皆様へ案内するので、参加を希望される場合は事務局にご連絡いただきたい。
- ・以上を踏まえ、今年度はこの体制で運用していきたいと思うがよろしいか。

(委員)

- ・意義なし

(会長)

- ・それでは今年度はこの体制で実施していくので、よろしく願います。

#### (2) 熊本地域公共交通計画の進捗管理について

(事務局)

- ・資料2を用いて説明

(会長)

- ・進捗管理の具体的な内容について示されたが、これについて何か意見等はないか。

(委員)

- ・意見なし。

(3) 各専門部会での検討内容について

①基幹公共交通・公共交通利用促進部会

(事務局)

- ・資料 3 を用いて説明

②バス路線網再編部会

(事務局)

- ・資料 4 を用いて説明

③コミュニティ交通部会

(事務局)

- ・資料 5 を用いて説明

(会長)

- ・各部会について、今までやってきた成果とその後出てきたテーマや課題についても新たに取り組むということを簡潔にお示ししてある。今までの流れの中で、乗って便利な公共交通というものをどこまで保障できるのかということがある。
- ・公共交通利用促進部会については、パーク&ライドも言葉ばかりというわけにいかない。現実に進んでいないということがあるし、また、高齢者が自分が行きたい病院にはどのバスに乗ったらいいかわからずバス停で立ち往生しているという状況が、MaaS の中できちんと解決していくのかという具体的な議論を行っていただくことになる。
- ・バス路線網は、共同経営計画との流れが出てくるし、これの実現に向けては市電や JR との関係やタクシー事業者さんとの協力などがあり、バスのダウンサイジングの話も出てくる。バス路線網だけではないが、これから自然エネルギーとの関係で電気バスや水素バスなど、ここでは直接的な議論にはならないけれども、そういった新しいものを視野に入れてどうするかということも想定しながらやっていくことになろうかと思う。
- ・コミュニティ部会のこれまでの取り組みである空白地域等へのコミュニティ交通の導入は、様々なことをやって結構成果も出ている。また、不便地域をどのように含めていくのかなど、具体的な形としては非常に利用者にとって影響してくるところであるが、今後も出てくる空白地域等への導入のあり方やその中身について具体的に検討いただくことになるし、AI デマンドタクシーのような新しい形態で、ドア to ドアで本当にどこまで保障できるのかという、これも新しい取り組みになる。
- ・各委員の皆様には様々なご協力、あるいは知恵を出していただくことになると思う

が、何か意見があれば自由に発言をお願いしたい。

(委員)

- ・意見なし

(会長)

- ・それでは、詳細は各部会で詰めていただくとして議題4「その他」に移りたいと思う。

#### (4) 今後のスケジュールについて

(事務局)

- ・資料6を用いて説明

(会長)

- ・皆様にはご負担をかけることになると思うがご協力をお願いしたい。

### 5. その他（報告事項）

#### ①共同経営について

(共同経営推進室)

- ・報告資料1を用いて説明

(会長)

- ・現在の厳しい状況の中で、各々重複路線の調整等をしていただいておりますが大変ありがたいことと思う。ご意見等にも全部対応いただいているということであるが、不便になった等の意見は出ているか。

(共同経営推進室)

- ・当然減便しているため、ご意見13件のうち、6件ほど「減便により不便になった」とのご意見があり、申し訳ないと回答させていただいた。
- ・ご意見の中で、すぐに対応できるものについては対応させていただいた。

(会長)

- ・現状では想定範囲の中で進んでいると考えてよろしいか。

(共同経営推進室)

- ・概ねご理解をいただいているような状況ではないかと考えている。

(会長)

- ・路線の変更をすると、必ず不満が出てくる。以前も改革した際に地域に入り、行く先々で大変厳しいご意見をいただいた経験があるが、そのような批判を受けながら改善していくことが仕事である。
- ・これについて何か質問等はないか。

(委員)

- ・今更ながらの疑問で恐縮であるが、九州産交バスと産交バスの違いは何か。

(九州産交バス)

- ・グループで2社運営しているが、元は2社とも「九州産業交通」という会社だった。

産交バスができた背景は、特に郡部の路線で補助金を受けながらでないと維持できない路線があり、コストを抑えた会社を作らなければならなかったという当時の事情があり、会社を分割して分けたという過去がある。その流れの中で2社になっているということ。以前は、天草産交や熊北産交など、更に分割が進んでいたが、そういった郡部の会社を1つにまとめて産交バスという会社になった。

(会長)

- ・今でいう「働き方改革」の前身のような話である。
- ・内容について何か意見はないか。
- ・共同経営については、独占禁止法の特例事項のような形で進んでいるものであり、利用者にとって不便な部分はあるけれども、それなりによかったと思っただけのものを作っていかなければならない。
- ・これについてはアンケートを取り、各々改善をしていくということで進めていかれると思う。各事業者の皆様については大変ご苦勞であるが、よろしくお願ひしたいと思う。

## ②まちなかループバスについて

(事務局)

- ・報告資料2を用いて説明

(会長)

- ・市内の回遊性を確保する、まちの賑わいを創出するというものであり、概ね好評をいただいているということであるが、この内容についてご質問等あればご意見をお願ひしたい。

(委員)

- ・このコロナ禍において利用状況は悪くはなく、学割キャンペーンも非常にいい取り組みだと思う。
- ・質問であるが、逆ルートの検討はされていないのか。例えば、熊本城へ来た観光客が桜町バスターミナルから熊本駅に向かったり、熊本城ホールを利用後に熊本駅に行ったりなど、そういった需要があると思うが、今のままではそのような人たちにとって使いづらい状況になっていると思う。そのような意味で、逆回りでのルートを検討されているということがあるのかお伺ひしたい。

(会長)

- ・利便性を高めるという目的で現在社会実験として実施しているが、事務局いかがか。

(事務局)

- ・4月から社会実験として運行をしているところである。運行開始の際はルートについても検討を重ねてきた。できるだけ既存のバス路線と重複しないようにという視点も併せて検討し、分かりやすく早くということでも考えたところ。ルートについても、今後様々な意見をいただきながら、できるかどうかも含めて検討していきたいと考えている。

(会長)

- ・大変重要な試みである。既存のバス路線との競合という問題はないのか。

(事務局)

- ・公共交通をできるだけ利用していただくきっかけ作りや、まちなかの回遊性の向上を図るという主旨で取り組みを始めたもの。既存路線との競合等については、バス事業者様ともこれまで十分検討をしてきたところである。

(会長)

- ・まちなかに常に便利なバスがあるという形になるのは非常にいいことであるため、続けていただきたいと思う。
- ・他に意見はないか。

(委員)

- ・アンケート調査は人数を数えただけか。どこからどのような目的できているかは分からないのか。
- ・まちなかループバスは、熊本駅とまちなかを繋いで行き来してもらおうということが1つの目的であるのと同時に、新幹線等で熊本駅に来られた方を中心部へ運ぶことも目的だと思うが、そういうものが達成されているのかということをお聞きしたい。もし、観光客が多いということであれば、例えば市電で実施している1日乗車券のデジタルチケットなども発行すれば非常に便利だと思うし、そのような調査を実施して新たな施策につなげていただけるといいのではと思う。

(事務局)

- ・現在「どのような目的で利用したか」「居住がどこか」ということを含めてアンケート調査を実施しているところ。どのような方が、どのような目的で利用されているかについては、アンケート回収後に改めてご報告させていただきたいと思っている。
- ・1日乗車券のモバイルチケットについても是非取り組んでまいりたいと考えている。

(会長)

- ・他に意見はないか。
- ・委員の皆様方には新しい課題をお願いすることになるので、今後、その任務遂行について宜しくお願ひしたい。
- ・それでは本日の議事を終了する。